

講演会

後援：岡崎市教育委員会
岡崎市社会福祉協議会

「40代・50代のひきこもりと 支援について」

「8050問題」って何だろう。ひきこもりの現状と制度を知り、
長期化・高齢化したひきこもりのことをみんなで考えてみませんか。

講師 川北 稔 先生

- ・愛知教育大学大学院に准教授として在籍
- ・社会学の視点から「生きづらさを抱える若者や家族の支援現場」を訪問調査している。
- ・2000年ごろから、名古屋市内で始まった若者支援のNPOや自助グループの活動に参加。
- ・2008年からは子どもの貧困や不登校の実例について、小中学校教員がディスカッションする授業を担当。
- ・2016年度、17年度は全国KHJひきこもり家族会連合会による「長期高齢化したひきこもり問題」の調査の取りまとめを担当した。
- ・著書に『「ひきこもり」への社会的アプローチ』（共著、ミネルヴァ書房）など。



日 時：2019年7月14日（日）

13時～16時（開場 12時30分）

場 所：岡崎市民会館（大会議室）

参加費：300円（当事者は無料） 定員100名（先着順）



社会的孤立を防ぐために、今何が出来るのか。これからどのように見守り、支え合うことができるのか。講師の川北先生、司会進行の山田孝介氏【NPO法人 オレンジの会 代表】、ひきこもり経験者の方、岡崎市行政機関の方にご協力をいただき、一緒に考えてみましょう。

【お問い合わせ・お申し込み先】

市民活動団体 ひきこもりを考える会 ゲートキーパー「おじぎ草」

ojigisou@okazaki-city.jp 090-9176-9583

（お名前とご連絡先をお知らせください）

この事業は、コープあいち福祉基金助成金をうけています